

# 宮城いきいき便り

## 活発に演芸ボランティア

いきいき学園大崎校同窓会「いきいき20期会」

会長 井上 隆悦さん(66) 大崎市松山



▲吉野作造記念館で行った定例会=大崎市古川



◀大崎市古川での敬老会で南京玉すだれを披露

20期会には、施設訪問などの企画・交渉を担当するボランティア部と、パークゴルフの企画や当日の世話役を担当するスポーツ部の二つの部が両輪となり、

参加する。「会としてボランティア活動を始めたのは、学園の先輩から南京玉すだれの指導を受けて大崎市の中央公民館まつりに出演し、こ踊り、フラダンス、合唱、銭太鼓と続き、最後に南京玉すだれを披露する。」

「年間の活動計画は総会の承認を受けて決まる。主な活動は福祉施設を訪問し、披露する。いずれも友人並みの披露する」と語る。

### 生きがい実感、仲間に感謝

「会としてボランティアを訪問する「演芸ボランティア」。

利用者は緊張がほぐれて笑顔で手をたたいた。同級会音頭になり、民謡舞踊(南部俵つみ唄)、ドジョウ舞(南部俵つみ唄)を踊り出す。時には昔を思い出し、「また来てね」と声を掛けてくれることが「喜びと生きがいに感じる。一緒に活動する仲間へ感謝の気持ちがいっぱいで、これからも続けていきたいと強く思う」。

このほかにも各種イベントへの参加・協力、大崎市中央公民館周辺の除草作業、中央公民館まつりへの参加や、会員の活動状況を紹介する広報誌を年1回発行するなど幅広く活動

「地区の皆さんが地元の生い立ちを知り、地元の魅力を多く再発見することになれば」と語り、協力してくれた住民らに感謝する。

20期会の目標は「明るい・楽しく・元気よく・そしてすこしずつ」。

「地区の皆さんが地元

泊まりの親睦旅行会、会員が住んでいる地域を訪ねる移動定例会なども開催。また、パークゴルフの練習を月2回行っているが、プレー中は笑いが絶えず、会員の親睦の場となっているため、「腕もスコアも上がりません」と苦笑い。

演目の練習は月1回行い、芸の向上に余念がない。会員が独自に講習会で会得した芸を仲間へ指導・伝授しては、皆で練習を重ねながら少しずつ演目を増やしている。

会員は傾聴ボランティア、社交ダンス、太極拳やシニア野球など、ほかのサークルにも積極的に参加しており活動は旺盛だ。井上さん自身は、生まれ住



20期会の会員による「南部俵つみ唄」の舞を楽しむ高齢者施設の利用者

東日本大震災翌年の2012年4月、宮城いきいき学園大崎校の20期生として多くの仲間とともに入学。学園の委員会活動、クラブ活動、文化祭や修学旅行など、さまざまな活動を通じて仲間とのつながりを深めた。14年3月に卒業、翌4月に20期会が発足。会員の生きがいや健康づくりを目指し、活発に活動している。